

事業評価・報告書

実 施 責任者	住 所	〒432-8018 浜松市中区蛸塚2-9-603
	氏 名	稲野吉弘
報告書 作成者	住 所	〒432-8018 浜松市中区蛸塚2-9-603
	氏 名	稲野吉弘
	電 話	0 5 3 - 4 2 7 - 2 7 5 5
	Fax	0 5 3 - 4 2 7 - 2 7 6 0
	E-mail	inano@inh.co.jp
事 業 名		平成24年度第2回団委員長・団委員セミナー(西部ブロック)
事業実施年月日		平成24年11月11日 ~ 平成 年 月 日
事業完了年月日		平成24年11月11日
事業目的		最前線にいる団委員長・団委員にむけ、激減する登録数の歯止め策の模索、方向性あわせを行う。
事業目標		西部ブロック全団参加。 現状認識の確認及び組拡視点での方向性模索するとともに、各地区・各団の数値を伴う募集目標表明 各団及び地区における具体的な取り組みを明言、話し合いの時間を十分に
具体的な開催(事業)実施内容 ブロック開催、一日型 土山惟之講演、登録データからの現状と傾向、成長奮闘団のケースディ(浜松東地区、浜北天竜地区、磐田地区3件) 組拡力の方向、各地区各団の目標設定合評		
目的及び目標に対する効果及び成果 西部ブロック39個団/24団 61% 現状認識は概ねできた 数値を伴う具体目標の表明は概ねできたが、まだまだ課題山積のため停滞。組拡担当の選定は進捗あり。募集方向は3地区程度あり。		
残された課題及び問題点 全団参加を徹底する。 危機感はあるが、具体的目標設定の未熟さや即行動に移しつつある。		
反省点 全団参加への強力なフォローが必要。 数値を伴う目標設定の事前準備が必要、また、地区毎発表には十分な時間が必要 主催側と参加者、参加者同士のコミュニケーションが不足しており、工夫が必要。		
提案事項 組拡視点での募集策を中心に展開したが、より具体的な手法や事例研究を設定し、2ウェイコミュニケーションによるラウンドテーブル型を志向する。		
添付書類 ・その他記録資料等 ・領収書等の原本 ・収支決算書 ・		